

市況情報

2024.March

14歳以下の人口減少が顕著な予測 これからのシングル向け賃貸は高齢者がメインに

下記表は2020年の国勢調査を元に発表された将来の人口予測です。人口減少が問題となっている中、14歳以下の減少率は他に比べて高く、2070年には半減すると予測されています。これにより、これまで若年層を対象としていたワンルームマンションの需要は大きく下がると考えます。これからマンション経営を考えている方は、増加する高齢者をターゲットに、シングル向けであっても日当たりや広さ、収納の多さなど、高齢者ニーズを満たす物件を企画する必要があると思われます。

日本の人口予測(推計人口)

	0~14歳		15~64歳		65歳以上		総計	
2020年	1503万人	100%	7508万人	100%	3602万人	100%	1億2614万人	100%
2030年	1240万人	83%	7076万人	94%	3696万人	103%	1億2012万人	95%
2040年	1142万人	76%	6213万人	83%	3929万人	109%	1億1284万人	89%
2050年	1041万人	69%	5540万人	74%	3888万人	108%	1億0469万人	83%
2060年	893万人	59%	5078万人	68%	3644万人	101%	9615万人	76%
2070年	798万人	53%	4535万人	60%	3367万人	93%	8700万人	69%

※国立社会保障・人口問題研究所 日本の将来推計人口(2023年推計)(出生中位・死亡中位推計)を元に作成。

出典：全国賃貸住宅新聞(2024.2.12)

この件に関するお問い合わせは

株式会社市萬 不動産経営アカデミー事務局

☎03-5491-5213